



題字・天野貞祐

第96号

令和3年6月1日発行

発行所 〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1

TEL / FAX 03 (3946) 6352 (直通)

獨協同窓会 発行責任者 木原正義

主な内容

コロナ禍の別れと出会い	木原正義	(1)
新校長就任あいさつ	上田善彦	(2)
令和3年度 総会・講演会・懇親会のご案内		(3)
令和3年度 通常総会 議案書		(4)
目白だより 2021年度 大学入試合格者数	齋藤有子	(6)
金有一先生を偲んで	木田宏海	(7)
コラム・ドイツ 50年前のミュンヘンオリンピック	木田宏海	(8)
獨協学園二人の校長先生と上智大学との意外なつながりについて	戸川 宏一	(9)
獨協ぶらり旅		(10)
OB会 紹介コーナー 獨協ラグビー倶楽部	芝 全行	(12)
クラス会・OB会 愉快だより		(13)
私の近況 卒業十年		(14)
ホームページリニューアルのご案内		(16)
同窓会からのお知らせ		(17)



<http://www.dokkyo-mejiro.com>

<https://www.facebook.com/groups/297418860299984/>

コロナ禍の別れと出会い

会長 木原正義 (昭和47年卒)

令和2年1月、日本で初めて新型コロナウイルスの感染者が出てからすでに1年以上経過しました。しかし未だ収束の目処が立たず、4月25日から3度目の緊急事態宣言が発令されました。そのような中、3月10日に高校の卒業式が行われました。昨年は保護者の参加は叶いませんでしたが、今年は教室で我が子の卒業式の様子をモニターで見るといった異例の式となりました。

ちょうど10年前の3月10日、永井伸一先生が校長として最後の卒業式が行われました。翌11日、日本中を震撼させたあの東日本大震災が起これ、テレビでは時間の経過とともに東北地方を中心に大きな被害に見舞われている状況がリアルタイムで放映されましたが、その惨状は今でも衝撃的な記憶として鮮明に蘇ってきます。地震直後140名以上の生徒が学校内にいましたが、その多くは帰宅困難者となり、さらにテニス部の中学生が遠征先で地震に見舞われ、一時連絡が取れない状況となりました。ライフラインが機能せず、交通機関もストップしている中、教職員の方々の献身的な働きにより、数日以内にすべての生徒が無事帰宅することが出来ました。

この年の4月、渡辺和雄先生が第22代校長に就任されました。渡辺先生とは私がPTAの役員をしていた頃から大変親しくお付き合いさせていただきました。幾度か立場を超えて獨協の今、そして未来について語り合ったことを思い出します。お陰さまで学校と同窓会との距離がぐっと縮まり、とても良い関係を築



くことができました。

この春渡辺校長ほか、萩野元祐先生(保健体育)、久慈榮志先生(社会)、本木善崇先生(数学)、渡邊哲之先生(芸術)、小川正城先生(社会)、関英夫先生(理科)が退任されました。皆さん30年以上、あるいは40年以上にわたり獨協で教鞭をとられてこられました。この内萩野先生、久慈先生、本木先生、渡邊先生は獨協の同窓生であり、天野貞祐先生から直接お話を聞くことができた最後の世代です。皆さんの教えは後輩の先生方に受け継がれ、これからも脈々と紡がれていくことでしょう。本当にお疲れ様でした。

今から52年前(昭和44年)の春、私は獨協高校のドイツ語クラス(いわゆる新独)に入学しました。同じ年、東日本大震災による放射能漏れで帰宅困難区域に指定されていた福島県の浪江町から一人の少年が獨協高校に入学してきました。彼は医師になるべく勉学に励み、また卓球部のキャプテンとしても活躍しま

した。そして卒業後獨協医科大学に進み、卒後は病理学教室に入局しました。その後も地道に研究に励み、努力を積み重ね、ついに病理学教授にまで上り詰めました。そんな彼の真面目な姿、卓球部でのキャプテンシー、そして何よりも気さくな人柄が認められ、この4月より我が校の校長として着任することとなりました。彼の名は、上田善彦先生です。同窓会としてこれからも今まで同様全力で支援させていただき所存です。

さて最後に同窓会活動ですが、新型コロナウイルスの感染拡大により残念ながら予定していた多くのイベントが中止になってしまいました。殆どの会議も学校

には集まれず、WEBでの開催を余儀なくされました。毎年行われている総会後の懇親会（椿山荘）も中止となりましたが、今年度（令和3年6月）開催予定の懇親会につきましても4月初めの新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、やむなく中止とさせていただきます。

そんな中、木田事務局長を初め同窓会事務のスタッフはほぼ予定通り月、木曜日に学校につめて仕事を遂行しました。行き届かない点もあると思いますが、スタッフ一同会員のために努めてまいりますので、どうぞこれからもご理解、ご支援よろしくお願い致します。

新校長就任あいさつ

獨協中学・高等学校 校長 上田善彦



昨年11月25日の獨協学園理事会・評議員会にて理事長吉田謙一郎先生の推薦の元、令和3年4月1日付で獨協中学・高等学校の第23代校長に選任されました上田善彦でございます。ここに謹んでご挨拶申し上げます。137年の歴史を持つ本校の校長就任の要

請は大変名誉なことではありましたが、浅学菲才な私にとっては荷が重すぎると固辞してまいりました。しかし最終的には母校のお役に立てるのであればと英断し、引き受けることといたしました。

私は、本校の昭和47年卒で、木原正義同窓会会長と同級生であり、谷田貝茂雄副会長とは獨協医大でも先輩後輩の間柄でした。これまで、同窓会の会費納入や少額な寄付は行ってきましたが、具体的な活動に参加してはおりませんでしたので、この度、校長就任にあたり、大変心細い思いでしたが、木原会長と谷田貝副会長に獨協中学・高等学校の現状などを教えていただき、非常に心強かったです。

同窓会の皆様には、昨年より新型コロナウイルス感染症の拡大にて大変不自由な生活をお過ごしのことと存じますが、これまでも母校の為に多額の資金援助や講演会などで大変お世話になってきましたことを、改めて御礼申し上げます。

初代校長の西周先生は、開校式典で知育、徳育、体育の3育の教養教育の大切さを強調されました。また獨協学園で薫陶を受け第13代校長になられた天野貞祐先生は、教養と理性を重視し、生徒のなかに上品な人格を形成する教育に努力され、今日まで本校で実践されています。

私は、とくに学力偏重の知育よりは、自分で考え、

知的好奇心が持てるような指導、豊かな精神と体力、朝起きたらご両親に「おはよう」の挨拶ができる、他人を敬い優しくできる徳育指導を実践していきたいと考えております。また、安心・安全な環境づくりは当然ですが、生徒にも獨協に来てよかったと思っただけのような学校を目指したいと思っております。獨協学園は開学以来、法曹界、医学会および教育界を目指すものが多く集まり、日本社会に多数の優秀で活躍する人材を輩出してきました。今回の中学入試では朝日新聞にも掲載されましたが、午後入試を実施したこともあり、受験生が倍増し、合格者の偏差値も上昇しました。さらに本年度より獨協医科大学への系列校推薦枠（獨協埼玉中学高校と併せて10名以内）が新たに設けられることになりましたので、今後の国公立、難関私立大学や医歯薬系への進学増加も期待されるところであります。

社会で活躍できる人材教育のため、教職員一丸となって取り組んで参りますので、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

<略歴>

1972 (昭和 47) 年	獨協高校卒業
1979 (昭和 54) 年	獨協医科大学医学部卒業 その後、獨協医科大学・助手、講師、助教授
2000 (平成 12) 年	獨協医科大学・教授
2005 (平成 17) 年	獨協医科大学越谷病院（現：埼玉医療センター）主任教授
2010 (平成 22) 年	獨協医科大学越谷病院・副院長
2010 (平成 22) 年	学校法人獨協学園・評議員
2019 (平成 31) 年	獨協医科大学附属看護専門学校三郷校・学校長
2021 (令和 3) 年4月	獨協中学・高等学校校長就任

令和3年度 総会・講演会・懇親会のご案内

令和3年度 総会・特別講演会を下記の通り開催いたします。

尚、新型コロナウイルスの感染状況により、学校内での開催が難しいと判断された時には、ウェブ開催といたします。

詳細につきましてはホームページ上でご連絡いたします。

日時：令和3年6月19日（土曜日） 午後3時より

場所：獨協中学高等学校5F小講堂

14:30 受付開始

15:00～15:50 【総会前特別講演会】

演者：鈴木 荘太郎（昭和35年卒業）

テーマ：消化管診断の歴史

16:00～17:00 【総会】

椿山荘に於ける懇親会は中止とさせていただきます。

総会前特別講演会

【演題】：「胃を診て半世紀」

講演内容：＊胃カメラの歴史

＊食道がん・胃がん・大腸がんの診断

＊内視鏡治療

＊内視鏡検査とX線検査の違い

＊上部内視鏡によるがん健診（食道がん・胃がん）

演者：鈴木 荘太郎（昭和35年卒）

<ご略歴>

昭和35年 獨協高校卒業
昭和43年 日本医科大学卒業
第一内科（循環器内科臨床研修医）
昭和48年 国立がんセンター中央病院 内科（内視鏡部）
昭和51年 東海大学医学部 消化器内科・健診部
及び病歴管理部室長兼務
平成2年 東海大学医学部 病院管理学 助教授
平成9年 東邦大学医学部 病院管理学研究室 教授
大森病院；病院長補佐
平成19年 藤沢市保健医療センター・健診部

日本消化器内視鏡学会 認定専門医
日本ドック学会 認定指導医
日本レーザー医学会 名誉会員
日本医師会 認定産業医



令和3年度通常総会議案書

開催日：令和3年6月19日(土)

《 総会付議事項 》

第1号議案：令和2年度事業報告の件

第3号議案：令和3年度事業計画案の件

第2号議案：令和2年度収支決算の件

第4号議案：令和3年度収支予算案の件

第1号議案：令和2年度事業報告の件

【概況】

学校と協力し、令和2年2月から新型コロナウイルス感染症拡大防止策を継続して行った。

通常総会は縮小開催とし、懇親会を中止した。各種委員会及び幹事会はWeb開催を取り入れ、また、アルカディアに於ける幹事会は中止し、決議事案は郵送にて意見をまとめ、学校内で縮小して開催した。獨協祭はWeb開催(11月21～22日)となり、令和元年度の展示風景を動画で配信した。OB講演会は中止された。

例年同様卒業生194名に記念品を贈呈し、図書館に図書費20万円を寄附した。

財務拡充のための寄附金募集に賛同頂き、190万円を上回る寄附金が計上された。また、卒業時に納付をお願いしている新卒同窓会費(1万円/4年間)は、51%から賛同が得られた。独協通信95号には会費の自動引落による納付案内を同封し、40名を超える申し込みがあった。

コロナ禍に於いて、ホームページによる情報発信の重要性に着目し、スマホなどからのアクセスが可能になるよう、リニューアルを行った。

＜委員会活動＞

①総務委員会 ②広報委員会 ③会計委員会を開催した。

＜常任幹事会＞

合計2回開催し、春は郵送にて意見を伺い、秋はWeb開催をした。

＜幹事会＞

合計2回開催し、春は郵送にて意見を伺い決議し、秋は学校中会議室にて縮小開催した。

第2号議案：令和2年度収支決算の件

【収入】(¥15,142,377)

① 一般会費	¥5,490,000
② 入会金	¥6,300,000
③ 新卒会費	¥1,000,000
④ 寄附金	¥1,932,587
⑤ 広告掲載費	¥360,000
⑥ 資産運用収入	¥59,790

【支出】(¥9,463,865)

① 事業費	¥6,504,874 (内 会報費 ¥2,231,130)
② 事務費	¥2,727,615
③ 予備費	¥231,376

【収支差額】(¥5,678,512)

以上、令和2年度は前年度を上回る収支差額金を計上した。

第3号議案：令和3年度事業計画案の件

【概況】

前年に続き学校と協力して新型コロナウイルス感染症拡大防止策を学校と協調して講じる。低迷している会費納入率を引き上げるため、電子媒体による情報発信及び独協通信に自動引落による納付案内を継続する。

【獨協祭への参加】

昨年計画していた同窓会設立90周年(2020年)記念と題し、昭和5年当時の史実紹介をテーマとして展示参加する。

【クラス会等への支援】

従来から設定している補助金(1万円)を、リニューアルしたホームページから申請可能とする。

【寄附金】

寄附金を納入頂いた際、速やかに感謝状を発行し、御礼品の贈呈(金額に応じて)を検討する。

【支部会(仮称)】

首都圏以外に在住する同窓生について、その地域に於ける親睦会開催を応援する。

【講演会の開催】

第8回OB講演会(中3・高1～2を対象としたOBによる講演会)を実施する。

【OB会活動の広報支援】

獨協祭にて、OB会の活動を紹介する。独協通信にてOB会を紹介するページを継続する。

【コスト削減】

更なる財務健全化のため、支出金額の見直しを継続する。

第4号議案：令和3年度収支予算案の件

【概況】

引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため諸行事の縮小または中止を余儀なくされる。特別予算を計上し、学校と協力する。

本年度も年間400万円の収支差額増実現を努力目標とする。

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費を設ける
- ② 更なるコスト削減
- ③ 独協通信有料ページのPR
- ④ 会費自動引き落とし手続きの利用促進
- ⑤ 財務拡充寄附金の継続

2020年度収支決算書 及び 2021年度予算案

(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	予算進捗率	2021年度予算額	摘 要
入 会 金	6,480,000	6,300,000	97.2%	6,300,000	3万円 x 新入生数
一 般 会 費	5,500,000	5,490,000	99.8%	5,700,000	
新 卒 会 費	1,300,000	1,000,000	76.9%	1,300,000	1万円 x 卒業生数
寄 付 金	1,780,000	1,932,587	108.6%	1,800,000	
(内訳) 財務拡充寄付	(1,500,000)	(1,931,587)	128.8%	(1,520,000)	
スマイルボックス	(30,000)	(1,000)	3.3%	(30,000)	
グッズ協賛寄附	(250,000)	0	0.0%	(250,000)	タイピン、カフス、ポロシャツ等
事 業 収 入	0	0		0	
(内訳) 懇親会会費	0	0		0	
協 賛 金	0	0		0	
広告掲載費(独協通信)	200,000	360,000	180.0%	300,000	
資 産 運 用 収 入	50,000	59,790	119.6%	50,000	利息等
合 計	15,310,000	15,142,377	98.9%	15,450,000	

支出の部

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	予算進捗率	2021年予算額	摘 要
事 業 費 合 計 (A)	7,332,000	6,504,874	88.7%	7,550,000	
(1) 総 会 費	100,000	86,494	86.5%	100,000	総会、懇親会費
(2) 会 報 費	2,300,000	2,231,130	97.0%	2,550,000	
(3) 事業通信費	3,000,000	3,067,422	102.2%	3,100,000	会報発送費等
(4) O B 会補助費	250,000	10,000	4.0%	250,000	
(5) 学校補助費	800,000	532,502	66.6%	800,000	
卒業生記念品費	(400,000)	(332,502)	83.1%	(400,000)	
図 書 費	(200,000)	(200,000)	100.0%	(200,000)	
学友会補助	(200,000)	0	0.0%	(200,000)	
(6) ホームページ費	332,000	332,000	100.0%	200,000	管理費
(7) 獨協祭参加費	100,000	0	0.0%	100,000	
(8) その他事業費	200,000	0	0.0%	200,000	
(9) 慶 弔 費	100,000	180,000	180.0%	100,000	
(10) 渉 外 費	150,000	65,326	43.6%	150,000	
事 務 費 合 計 (B)	3,204,000	2,727,615	85.1%	3,454,000	
(1) 事務運営費	1,100,000	1,345,760	122.3%	1,350,000	事務通信費、振込手数料等
(2) 管 理 費	900,000	772,500	85.8%	900,000	人件費、家賃
(3) 会 議 費	300,000	17,413	5.8%	300,000	
(4) 旅費交通費	500,000	211,700	42.3%	500,000	
(5) 名簿管理費	374,000	374,000	100.0%	374,000	
(6) 雑 費	30,000	6,242	20.8%	30,000	
予 備 費 (C)	350,000	231,376	66.1%	350,000	
小 計 (A+B+C)	10,886,000	9,463,865	86.9%	11,354,000	
収 支 差 額 金	4,424,000	5,678,512	128.4%	4,096,000	
合 計	15,310,000	15,142,377	98.9%	15,450,000	

積立金の部

期首積立額	68,341,760	68,341,760	100.0%	74,020,272
当期収支差額	4,424,000	5,678,512	128.4%	4,096,000
期末積立額	72,765,760	74,020,272	101.7%	78,116,272

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位：円)

【資産の部】		【負債の部】	
有価証券		【積立金の部】	
利付国債	7,000,000	(基本財産)	
		基本金	24,000,000
現預金	67,020,272	(運用財産)	
		事業積立金	
		一般事業積立金	44,341,760
		収支差額金	5,678,512
	74,020,272		74,020,272

収支差額金処分案

次のとおり、全額一般事業積立金に繰入のことにしたい。

基 本 金	24,000,000
一般事業積立金	50,020,272
(当期収支差額金)	(5,678,512)
合 計	74,020,272

目 白 だ よ り



2021 年度大学入試合格者数

進路指導部長 齋 藤 有 子

今年度は大学入試センター試験に替わり、受験生の思考力を問う大学入学共通テストが開始され、ポートフォリオの本格的運用も徐々に始まる等、入試制度の大きな改革が行われました。それに加えて、コロナ禍の影響により通常の学校生活を送ることすら難しく、大学入試自体も実施できるか不透明な状況が生じる等々、受験生にとっては高いハードルがいくつも用意された年でした。このような状況を受け、全国的に受験生の安全志向が見られました。総合型選抜、学校推薦型選抜で早めに合格を勝ち取る、或いは一般入試でかなり幅広く出願をし、進学先を決める生徒が多かっ

たようです。一方で、医療の最前線である医歯薬系統に関しては、自らがいずれ社会貢献したいという生徒が多く、倍率が上がっています。本校においても全国同様、総合型・学校推薦型選抜を志望する生徒は多く、特に指定校推薦で進学を決めた生徒は40名と、過去に例を見ない人数でした。それに伴い一般入試での受験者は減少しましたが、入試動向をよく見極めた結果、千葉大や北海道大、電気通信大等の国公立への合格を手にした生徒も複数おりました。生徒諸君の健闘の結果を以下の資料にてご覧ください。

2021 年度大学別合格者数 (推薦者も含め延べ人数)

進路指導部

<国公立大学>

北海道	1
信州	1
福井	1
茨城	1
東京農工	1
電気通信	1
千葉	3
静岡	1
愛媛	1
京都	1
福岡教育	1
会津	1
合 計	14

<難関私立大学>

早稲田	6
慶応義塾	5
上智	7
東京理科	21
ICU	0
合 計	39

< GMARCH >

学習院	5
明治	24
青山学院	8
立教	18
中央	21
法政	21
合 計	97

<私立大学>

日大	55
東洋	15
駒澤	10
専修	14
成蹊	6
成城	9
明治学院	13
獨協	20
芝浦工業	15
東京農業	23
東京電機	13
東京都市	8
合 計	201

<医学部医学科>

獨協医科	6
愛知医科	2
福井	1
金沢医科	1
東北医科薬科	1
北里	4
杏林	3
昭和	2
聖マリアンナ医科	4
東京慈恵会	1
帝京	3
東邦	3
日大	2
関西医科	1
国際医療福祉	2
合 計	36

<歯学部>

北海道医療大	1
奥羽	1
神奈川歯科	3
鶴見	2
日大	5
日本大学 松戸	5
日本歯科	3
松本歯科	1
明海	4
合 計	25

<薬学部>

東京理科	1
東邦	1
東京薬科	1
帝京	2
帝京平成	1
城西	1
日大	1
日本薬科	1
横浜薬科	2
慶応義塾	1
合 計	12

<推薦入試等>

獨協医科推薦	4
獨協推薦	14
指定校推薦	22
公募推薦	5
A O入試	9
合 計	54

【指定校推薦進学 (2021 年実績)】※獨大・獨医除く
早稲田 (創造理工1・基幹理工1)、上智 (理工2)、
東京理科 (理3、経1、薬1)
青山学院 (理工1、法1) 東京薬科1
法政 (理工1・法1)、日歯1、芝浦工大1
東京電機1、北里医1、聖マリアンナ医1、中央1、
学習院1、明治学院1

卒業生数	194
合格件数	530
現 役	352
既 卒	178

金有一先生を偲んで（永遠の主管）

木田宏海（昭和46年卒）

金有一先生が病氣療養中のところ、4月12日に永眠されました。昭和43年に数学科教師として獨協に来られた時、初めて担任を持たれたのが我々のクラス（昭和46年卒）でした。数学をいつも優しく教えて頂いた金先生は、1941年（昭和16年）東京都杉並区に生まれました。昭和35年獨協高校を卒業され、東京理科大学理学部数学科に進学。獨協では数学科でご活躍される一方、ワンダーフォーゲル部顧問を長年務められた。そして同窓会でも無くてはならない存在でした。

少年時代から昆虫や植物に興味をもたれ、野や山を歩き、草花との出会いに情熱を傾けられた。還暦の2001年に「花の山旅」を自費出版され、私が当時駐在していたドイツまで自著を送って頂いた。この著書の「序にかえて」に、私も一文書かせて頂いた。

私が第一志望の大学合格を報告に行ったら、職員室に金先生が丁度いらっしゃった。職員室で「○○大学○○学部合格」と大声で言われ、一緒に喜んで頂いた。今でも昨日のように思い出す。金先生のご自宅で麻雀をしたこともあった。先生が母校の先輩だと親しみを感じる。

社会人になってからも金先生との交流は続き、「木田は獨協大好き人間だから、同窓会活動をしろ」と云われたことがあった。しかし総合商社での仕事が非常に忙しく、海外勤務もあってお手伝い出来なかった。1980年の後半、金先生がドイツに出張に来られた。しかし予定が合わず、お目にかかることができなかった。とっても残念だった。ボンのホテルにシャペンをお届けしたら、大変喜んで頂いた。

会社の斡旋で2006年デュッセルドルフ日本人学校理事会に転職した。その時は金先生に獨協の事務長をご紹介頂き、大変有難かった。ドイツ勤務中も、獨協関係の印刷物を毎年のように送って頂き、嬉しかった。2018年ドイツから本帰国し、同窓会で金先生と久しぶりにお会いした。全くお変わりなく安心した。新型コロナ流行でクラス会が開催出来ない中、金先生が逝去されたのは痛恨の極みである。



2017年6月17日 同窓会懇親会にて

獨協卒業後、半世紀も金先生との交流がずっと続いた。私にとって獨協3年間の恩師ではなく、永遠の恩師であった。我々クラス一人ひとりの胸中に、金先生は永遠に生きておられる。彼岸より変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

金有一先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。



2017年9月24日 獨協祭にて

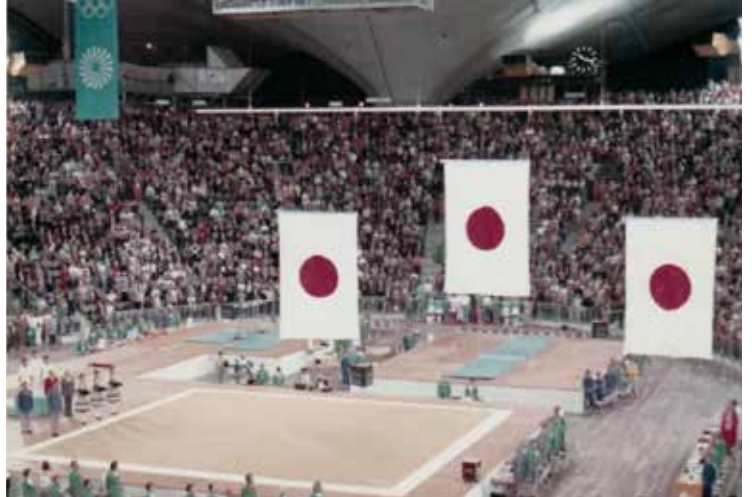


50年前のミュンヘンオリンピック

事務局長 木田 宏 海（昭和46年卒）

2021年3月初旬の時点で、東京五輪・パラリンピックが開催されるか分からない状況だが、約50年前の1972年ミュンヘンオリンピックが開催された。当時私は早稲田大学政経学部の1年生であった。大学の友人から国際オリンピック委員会（IOC）、日本オリンピック委員会（JOC）、ゲーテインスティテュート共催で「ミュンヘンオリンピック参加奉仕団」というがあるので、応募してみないかと誘われた。採用試験があったが、獨協でドイツ語を学んだお蔭で最年少の参加者だった。

最初の2週間はミュンヘン郊外のシュタルンベルク湖畔で、ゲーテインスティテュートによるドイツ語授業があった。ここは森鷗外の短編小説「うたかたの記」にも出てくる風光明媚な高級リゾート地として有名である。「ミュンヘンオリンピック参加奉仕団」は、日本人選手の通訳ボランティアをするのが目的であった。ところがドイツに到着後、主催者側のごたごたで通訳の仕事がないことが判明。その代わりに競技会場でゴミ拾いをして欲しいと言われた。大きな国際大会でトラブルはつきものだ。しかしはるばるドイツまで来てゴミ拾いはないだろうと団体交渉し、ゴミ拾いをする代わりに参加費用の半分が返金された。



オリンピック競技会場で、紙コップのゴミを拾いながら体操、バレーボール、サッカー、水泳、乗馬などの競技を観戦した。身分証明書を見せれば、競技会場に自由に入れた。しかし平和の祭典と言われるオリンピック開催中、パレスチナ武装組織「黒い9月」のテロ事件が発生した。出勤日の早朝、路線バスでオリンピック会場に向かう途中、テロ事件を知った。競技会場が全面閉鎖され、イスラエルの選手11名が犠牲になった。

観戦した競技で一番感動したのは、日本男子の体操だった。日本の国旗が金銀銅と3つ並び、優勝の栄誉を称える君が代の演奏を聞いて、感激のあまり体が震えた。鉄棒の塚原選手の「月面宙返り」という命名は、帰国後初めて知った。男子バレーボールでは東ドイツを相手に優勝し、この時も大変感動した。この試合は開催国の西ドイツで、東ドイツとの優勝決定戦ということで入場が厳しかった。持っていた一眼レフカメラを見せ、我々は日本の報道関係者だと言ったら、入場を許可された。東欧の強豪・東ドイツを破り、当時「ミュンヘンの奇跡」と呼ばれた。

仕事の無い時は南ドイツを中心に、スイス各地やオーストリアのインスブルック、ザルツブルクを訪問した。19才の時に人生初の海外、それも憧れのドイツに1月半滞在出来た。これも獨協でドイツ語を学んだお蔭である。以上半世紀も昔の懐かしい思い出である。



獨協学園二人の校長先生と上智大学との意外なつながりについて

前上智大学同窓会（ソフィア会）会長 戸川 宏 一（昭和34年卒）

上智大学は8年前の2013年に創立100周年を迎えましたが、その時に上智と関係の深い著名人の遺された言葉を一冊の本にまとめました。改めてその本を読んでみて、その中に獨協学園の過去二人の校長先生と上智大学との意外なつながりのあることが分かりました。



桂 太郎 (1847-1913)
獨逸学協会学校 第2代校長
日露戦争時の総理大臣
獨協同窓会ホームページより

その一人は、獨協学園の第二代校長の桂太郎先生です。上智大学の創立以前の話ですのでかなり古い話になりますが、1905年頃にカトリックのローマ教皇使節が当時のローマ教皇ピオ10世の命を受けて、東京に上智大学の創立を模索するために度々来日しました。その時に、当時の桂太郎内閣総理大臣に面会し、桂太郎総理大臣から「真に国際的な大学にするように」と期待と励ましの言葉を頂いたことが、当時の記録として

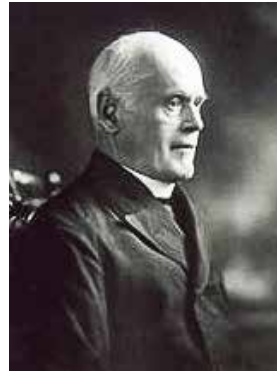
遺されています。その後1913年に上智大学が創立され、桂太郎先生のご期待に込めて今日上智大学は国際的な大学へと発展してまいりました。

もう一人は、私の獨協高校在学中に校長を務めておられた、尊敬する天野貞祐先生です。

天野貞祐先生は、1950年から2年間文部大臣を務められた後、1952年（昭和27年）から1970年（昭和45年）までの長きにわたり、ご自分の母校でもある獨協中・高等学校の校長として、「学問を通じての人間形成」の精神に則った獨協学園の再建に尽くされました。

天野貞祐先生は、上智大学創立の頃日本に派遣されてきたドイツ人のヨゼフ・ダールマン神父と親交があったようです。天野先生は1922年にドイツのハイデルベルク大学に留学されたのですが、ドイツ留学中に会った友人に、「ドイツに来てても滅多にいない

ような偉い人が日本の東京にいる。それは上智大学のヨゼフ・ダールマン師だ。」と語っておられたことが上智五十年史に記されています。



Joseph Dahlmann (1861-1930)
イエズス会司祭
コブレンツ（ドイツ）出身
上智学院ソフィア・アーカイブズ所蔵

天野貞祐先生は、キリスト教徒であった内村鑑三氏から学生時代に直接教えを受けておりましたが、晩年に学生時代からの親友であり、哲学者でもあった岩下壯一カトリック神父の影響を受けて、カトリック（上智大学はカトリックのイエズス会が母体になっている）の洗礼を受けカトリック信者になっておられます。

また1913年に上智大学が創立された当初は、上智も獨協と同じように第一外国語がドイツ語だったこともあって、獨協から上智への入学が多かったことも

上智大学50年史に記されています。

このように獨協と上智には、上智大学創立当初より強いつながりが存在しています。2019年には上智大学卒業生の会（ソフィア会）の中に、獨協高校・上智大学の卒業生で集まる「獨協ソフィア会」を昭和42年獨協高校卒の宮崎輝雄氏を中心に立ち上げました。このグループを設立して以来、獨協同窓会木原正義会長をはじめ、獨協大学同窓会須藤明弘会長、獨協医科大学同窓会黒沼幸雄会長にもご参加いただいて交流会を開いており、これからもこの会を通じて獨協と上智の絆を大切にして、更なる交流を深めてまいりたいと思っています。



天野貞祐 (1884-1980)
獨協学園 第13代校長
1950-1952 文部大臣
(第三次 吉田内閣)
獨協同窓会ホームページより



2019年9月5日 獨協ソフィア会との会合

<後列左より> 倉林正文 (S53卒) 戸川宏一 (S34卒) 宮崎輝雄 (S42卒)
前上智大学ソフィア会長 獨協ソフィア会長
<前列左より> 黒沼幸雄 須藤明弘 (S42卒) 木原正義 (S47卒)
獨協医科大学同窓会長 前獨協大学同窓会長 獨協同窓会長

上智大学ソフィア会



<https://www.sophiakai.gr.jp/>



獨協ぶらり旅

谷田貝 茂雄 (昭51年卒)

「獨協ぶらり旅」では、卒業生が営む飲食店・商店または 各界でのご活躍ぶりをご紹介します。
思わぬところに同窓生がいます。是非、お訪ねください！

天ぷら 柳ばし 大黒家

丸山 雄三さん 昭和 60 年卒業

お店は J R 総武線 浅草橋駅東口から徒歩 4 分、神田川の水面に美しくライトアップされた柳橋の傍です。

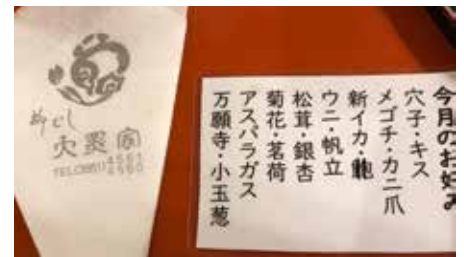
店主の丸山雄三さんは、この地域で一番歴史のある台東区立育英小学校に通学していました。中学受験のとき進学指導の先生から獨協中学を勧められ入学しました。中学から高校まで陸上部に所属し、短距離選手として活躍しました。獨協時代の思い出は、「のんびりした雰囲気心地良いところ」と語っていました。

主管は井上先生、高瀬先生、柏葉先生。その後、獨協大学経済学部に進学し、卓球部に所属しましたが、大学でも「ゆっくり、のんびりした雰囲気」だったそうです。大学卒業後は、今はなき大塚の「なべ家」で 2 年間修行し、その後お父様の経営する「大黒家」に戻りました。



右から、丸山雄三さん、長谷達也さん、鈴木英彦さん、丸山泰幸さん、谷田貝
<獨協Dマークを作って！>

店内には 12 名座れるカウンターがあり、写真の様に丸山さんが丁寧に揚げる天ぷらを脇に控えている 4 代目のご息がひとりひとりに提供してくれます。天ぷらはいずれも芸術的な見栄えと、言葉に出来ない美味しさでした。コース料理の終わりには、「天ぷら蕎麦」「天井」「天茶漬け」のいずれかを選べます。



紹介者の丸山泰幸さんは 14 歳の時に祖父に連れられてこの店に来店し、その後しばしば店を訪れるようになりましたが、まさか当時の店主のお孫さんが同窓生であって、このように 40 年の時間を越えて今同窓生達とこうして天ぷらをいただけるのは、「全て獨協がひきあわせた運命」と当時から今日までのことを回想され、感動しました。時間を忘れて美味しい天ぷらをいただき、一同再来を約束して解散となりました。

<大黒家の創業は昭和 26 年>

浅草の「大黒家」から暖簾分けし 60 余年。親子代々引き継がれている江戸前天ぷらの技術と味を堪能することが出来ます。3 代目の店主は新たな挑戦をしつつ、代々の伝統を大切に守り続けています。

<ホームページから引用>

お座敷カウンターで、一つ一つ揚げたての江戸前天ぷらが味わえます。江戸情緒が残る柳橋に店を構えて 60 年。江戸前お座敷天ぷらの味とスタイルを守り続けています。カウンターでネタさばきから揚げるまでの一連の動作が見えるのもお楽しみの一つ。



ホームページ



〒 111-0052 台東区柳橋 1-2-1 電話 03-3851-4561

紹介者：丸山泰幸さん (S59 卒)

丸山泰幸さん、鈴木英彦さん (S57 卒)、長谷達也さん (S60 卒) を伴い訪れました。

ゲーム音楽制作者 株式会社 豪剣

代表取締役 椎名 豪さん 昭和 62 年卒業

令和 2 年 9 月 29 日午後、上野で椎名 豪さんからお話を伺いました。

令和 2 年の O B 講演会、「ゲーム依存症」について講義された佐伯 吉規さん（H3 卒 がん研有明病院緩和治療科）からゲーム音楽製作者として第一線で大活躍している椎名 豪さんを紹介されました。

椎名さんは「お父さんはスーパーマン（スーパーマンが帰ってきた?）」というテレビの救命救急医にあこがれて救命救急医になる事を考えて獨協中学を受験し入学しました。

当時埼玉県八潮市に住んでいたため、八潮→松原団地駅（現在の獨協大学前駅）→秋葉原駅→飯田橋駅→江戸川橋駅をいう経路で遠距離通学をしていました。中学時代は、陸上部とブラスバンド部。なにぶん通学に時間がかかるので、遅くなると陸上部の先輩の家によく泊めていただいたそうです。

時にはブラスバンド顧問の先生とも一緒に楽しい時間を過ごしました。そこで学んだことは「いろいろな親がいる事」でした。特にブラスバンドの先輩達とは仲が良かったそうです。

陸上部の思い出はひたすら「楽しかった」そうです。

そのころ流行していたのが任天堂の「スーパーファミコン」でした。

その後、獨協大学外国語学部に入學し、軽音楽部に入部し軽



【鬼滅の刃】

最近では今最も世間を賑わせている劇場版「鬼滅の刃」無限列車編が公開され、11月2日付のオリコンデイリーデジタルシングル（単曲）ランキングで『鬼滅の刃』に関する楽曲がトップを独走しています。

1位は劇場版の主題歌である LiSA「炎」、2位は同じく LiSA の楽曲で、TV アニメシリーズのオープニングテーマ「紅蓮華」。

そして注目すべきは 4 位にランクインした椎名豪 featuring 中川奈美「竈門炭治郎のうた」とマスコミで取り上げられています。



音楽部ではキーボードを担当したそうです。

就職活動では、46 社受けて全て落ちてしまい大学 4 年生の卒業旅行にも行けなかったそうです。

そして「ナムコ」に入社しました。ナムコは「スペシャリスト（可能性）」と「ジェネラリスト（即戦力）」の採用枠があり、ジェネラリストとして入社しました。

入社後はゲーム音楽を担当することになりますが、中学高等学校時代のブラスバンド、大学時代の軽音楽部だったものの作曲は「素人」でした。入社後数年は大変な努力を強いられたそうですが、徐々にクライアントなどからも仕事が認められ出し、20 年間ナムコで活躍の後、あるきっかけから独立されました。



TV アニメと劇場版の劇伴にも携わる椎名豪さん。

現在フリーで活躍する椎名さんはナムコ所属時代から、同社が誇るゲームタイトル『テイルズオブ〜』や『ゴッドイーター』『アイドルマスター』シリーズなどのサウンドを制作していました。物語が佳境を迎える場面で、壮大かつ神秘的な世界観を構築するサウンドに定評があります。TV アニメ『THE IDOLM@STER』（TBS・MBS ほか）では高垣楓「こいかぜ」や如月千早「蒼い鳥」など、アニメ史に残る名曲を生み出しています。

獨協ラグビー倶楽部・OB会

会長：芝 全行 (昭55年卒)

獨協ラグビー部が発足したのは昭和1959年(昭和34年)という資料が残っており、それを起源として一昨年60周年の節目を迎えるにあたり中高生の現役ラグビー部員を含めOBを交えて発足したのが獨協ラグビー倶楽部です。まだ新しい組織ではありますが、獨協とラグビーをこよなく愛す会員からなる組織です。会員数は現在140名程ですが、まだ連絡が行き届いていないことを考えると200名を超える程の組織になるかと思えます。

会発足の経緯は、一昨年獨協ラグビー部発足60周年を迎えるにあたり、この歴史あるラグビー部を何か目に見える形にできないかという声にわかに上がり紆余曲折しながら組織化するに至りました。

我々獨協ラグビー倶楽部の目指すところは、①中高生の活動のサポート②現役、OBを含めた世代を超えた交流③獨協ラグビー部を内外へ広報するという3つを主にテーマにしており、あくまでも現役のサポートを考えた組織で、たんなるOB会とは違った組織かと思えます。

2019年2月に発足会を開催しましたが、写真をご覧のように140名を超えるOBと現役(時間と飲酒の関係上現役のみなさんにはお帰りました)が集い今後のラグビー部の発展を思う有意義な会が開催できました。

残念ながら今年はコロナ禍で会合を見送らざるを得なかったのですが、獨協ラグビー精神は脈々とつながっており、これからもつないでいくと確信しています。

さて獨協ラグビー倶楽部の大きな目的である現役中高生のサポートとしては、集まった会費と会員からの寄付を元にユニフォームを新調したり、活動に必要な備品類などを購入したりと、この倶楽部の目的を果たしているかと思えます。

今後の倶楽部の活動としては、現役のみなさんの前述のような物質的サポートはもちろんのこと現役の中高生が自信を持って部員を勧誘できるような存



2019年1月26日 総会

在にならなくてはと考えています。

ラグビーは最低15人必要なのですが、痛い・汚い(土まみれ)などの理由からか、やってみたくてちょっとと思われがちなスポーツなので、ラグビーの楽しさ、素晴らしさ(人的な交流も含めて)を現中高生に加え、獨協中学入学希望者へも何らかの広報ができればと考えております。

新しい形の倶楽部運営ができれば獨協の文武両道につながるのではと思っています。いつの日か大学選手権や社会人リーグなどで獨協出身者の名がつかれることを願いながらこれからも途切れることなく継続した現役中高生のサポートをして行きたいと思えます。

獨協ラグビー倶楽部は、ラグビー部OBが中心ではありますが、獨協ラグビーに共感を持っていただける方々にも入会していただければと思っております。現在会費は無料、年1回総会開催時の出席者からの参加費と寄付により運営をしております。ご賛同いただける方は下記へご連絡ください。

獨協ラグビー倶楽部事務局(獨協中学・高等学校内)
03(3943)3651(間嶋 剛 先生)
よろしくお願ひします。



中高生



寄贈品

昭和34年卒 80+1 傘寿記念 合同クラス会 中止のお知らせ

さわやかな風と共に緑いっぱいの初夏になりました。皆さん毎日お元気にお過ごしのことと存じます。本年は、傘寿記念の合同クラス会を開催しようと準備をしておりましたがコロナが収まりません。変異をしてワクチンの方が追いついて行っていないと思います。高齢者の方は特に危険な状態と思われます。ここでは、病気になるまいよう用心深く毎日を過ごしましょう。

さて、幹事の方から感染したらご家族の皆様にも危険があるとの指摘があり、急遽傘寿の会は「今回は見合わせよう」との意見が多く、誠に残念ながら中止の結論になってしまいました。

皆様も現状をご理解いただきご了承を賜りたくお願い申し上げます。

コロナが収まり米寿の会が開催できるかはわかりませんが、いつの日にか皆様にお会い出来ます事を心より楽しみにしております。とりあえず傘寿記念の合同クラス会は中止になりました事をお知らせいたします。

昭和34年卒「絆の会」幹事一同
有我昭藏

鉄道研究部OB会発足のご案内

鉄道研究部は、2020年10月14日に創部50周年を迎えました。これを記念し、本年秋にOB会発足式を開催予定です。OB会に登録手続きをされていない方は、下記のQRコードよりご登録ください。詳細をご連絡します。

記念ポロシャツ、エコバック（トートバック）を作製しました。ご希望の方（鉄研OBを問わず）はメールにてご連絡ください。

沖山 秀司(S49卒) 谷口 蒼(H26卒)
dokkyomejirotekken.obkai@gmail.com



OB会 登録用QRコード



クラス会・OB会等補助金のお知らせ

同窓会では1開催につき1万円の補助金を助成しております。

- 対象となる会合：クラス会、年度クラス合同会、地域支部会、OB会、その他（学年を越えたドイツ語クラス会等）。参加人数は5人以上。
- 回数：いずれも年1回。
- 申請：開催責任者が事務局に申請して下さい。
- 添付書類：案内状等があるときは添付して下さい。
- 報告：開催報告を「独協通信」へ是非寄稿して下さい。

ご連絡をお待ちしております。

私の近況 卒業 10年

●昭和二十年獨逸学協会中学校に入学。同年五月ドイツ、八月我が国が敗戦。退校者多し。二十六年卒業。加齢による病二、三あれど「元氣」。

＜赤川 明(昭26卒)＞

●米寿を過ぎた頃ともなると、同窓会も絶えて久しく、同級生の消息は全く分からなくなる。一方、終活とやらで物事の整理に追われるようになる。そうした中、あれはと思うものはなかなか出てこない反面、思わぬ発見をすることも多い。先日、古い独協通信を整理していて、私のかかりつけの鹿島医院の院長先生が獨協の先輩だと知って驚かされた。世間は意外と狭いものである。＜久保木 哲彦(昭26卒)＞

●今年米寿を迎えました。有難い事です。佳き師、良き友に恵まれた6年間を過ごしました。多くの友人が亡くなり寂しい限りですが、これからは健康に気をつけて過ごしたいと思っています。

＜鈴木 三郎(昭26卒)＞

●終戦の年に入学し、戦後の食糧難の中を走り抜け、今は病も無く自適に過ごしている。杉並区の区長の田中良氏が獨協の卒業生なので「杉並獨協会」を金有一先生を中心に十数年前より年一回開いている。沢山の卒業生の参加を望む。＜田村 馨(昭26卒)＞

●88才となります。在学中の思い出は漆山正二先生の授業が思い出が深く、早稲田入学後も教えて頂き昭和30年に第一政経の経済を卒業しました。33年から名古屋で暮らしています。毎年車を運転し夏から秋にかけて長野の山荘で暮らし孫や曾孫と遊ぶのを妻と共に楽しんで居ります。

＜夏目 義清(昭26卒)＞

●両親が外地にいたこともあって中学・高校は獨協に入ったものの、すぐに疎開で新潟に行き、高2までは新潟県立三条中・高校、卒業は獨協という具合。まったく戦争に振り回されていました。こういう人生もあります。

＜林 勉(昭26卒)＞

●卒業後70年になりますが、その後の学園改革で、我々の恩師がその責の一端を負って退任されたこと等を今に知り改革前の卒業生として誠に残念に思っています。あの戦中、戦後を通して学んだ仲間からは昭和シェル石油の常務から東亜石油の会長を経歴した林 勉、アルピオンの創業者現社長の小林英夫、金融界の鈴木三郎、青森弘前病院長の大波勇、大学教授の吉田矩久などが恩師の汚名を晴らしてくれたと思っています。

＜山田 恵也(昭26卒)＞

●独協通信第95号「私の近況」に掲載された打矢之威氏(昭和31卒)の「キリスト教の聖地巡りの旅」

を大変興味深く読みました。実は、私は高校一年生時に肺結核で一年休学したので、打矢氏とは同期です。懐かしい級友です。念願の最後の訪問地であるエルサレムを訊ねて「歴史学者・アーノルド・トインビーがキリスト教が世界宗教に発展した苦悩の歴史と栄光への道を検証したように」ご自分の心と眼で実感されて下さい。どうかお身体をご自愛下さい。

＜小川 秀明(昭32卒)＞

●卒後60年。獨協高ではサッカー部と写真部、順天堂大ではラグビー部とスキー部の体育会志向。体力の限界を感じラグビーは60歳。競技スキーは76歳で終了。今でも親しい仲間は獨協1年の同級生、年2～3回は飲み会あり。現在、整形外科開業中、いつまで続けられるやら――。

＜藤巻 有久(昭36卒)＞

●〈獨協と私〉卒業生として天野貞祐校長先生に直接薫陶を受けたことが私の誇りであり、そして高校3年間、同じ独語クラスで学んだ仲間と今も親密な交遊が続いている。私の宝である。

＜松木 益道(昭36卒)＞

●外資製薬会社、その関連会社の仕事を63才で終了し、生まれ育った上野で町内会の手伝いをしております。また、獨協中高でPTA活動を通じ、同窓会スタッフとの交流が切っ掛けで現在同窓会活動を盛り上げております。

＜新井 雅安(昭46卒)＞

●今年3月に3人目の孫が生まれました。待望の男の子です。これからの成長が楽しみです。

＜小川 守一(昭46卒)＞

●4月に初孫が生まれます。少し遅いですがね！

＜河原 一博(昭46卒)＞

●獨協でドイツ語を学び、駐在2回や現採で通算21年間ドイツで勤務。3年前定年退職して日本に帰国。最近独協のクラス友人とリモート飲み会で旧交を温めています。

＜木田 宏海(昭46卒)＞

●2年前下喉頭にガンが見つかり手術。レベル4でもなんとか命を取り留めました。現代医学に改めて感謝です。あいにく声帯を取り失声。今は筆談で社会復帰。仕事もまだ続けています。

＜武井 雅史(昭46卒)＞

●昭和43年高校入学組です。思い出①天野貞祐先生の訓話を拝聴出来た事。②自身の卒業式と吹奏楽部席でチューバを吹いていた事。③卒業50年、独協通信の原稿依頼があった事。皆々様に感謝。

＜西原 潔(昭46卒)＞

●まもなく70才近くになり仕事も定年10年を過ぎ

私の近況 卒業 10年

て今思うのは獨協学園、大学の時も友達にささえられての人生でした。常に部活(剣道部)、クラスの友達が力になってもらい、社会人になっても当時の心の力になっていただき、人へのやさしさ、思いやりのある精神を教えていただきました。私の人生のすばらしき恩師、友に感謝!すばらしき獨協学園でした。

＜南條 齊(昭46卒)＞

●父、私、息子と親子3代獨協生として学び、4代目候補生は?未だ4才。さて学園とはPTA活動で新校舎となった母校と関わり、現在は後援会の理事として学園の発展応援中。 <眞田 榮(昭46卒)＞

●昨年、突然の感染症を患い手術を受け3週間余り入院しましたが、さらに造血器腫瘍も発症し、現在闘病中です。何も不安のなかった日々が懐かしく思う今日この頃です。人生何が起るかわかりませんね!? 残りの人生、家族の支えの元で精一杯生きて行こうと思います。 <田中 謙光(茂)(昭50卒)＞

●千葉県から長野県に移住し早20年になります。松本歯科大学歯学部長として毎日楽しく仕事をしています。様々なところで獨協生の先輩や後輩と出会い、そのつながりを大変大切にしております。

＜宇田川 信之(昭56卒)＞

●高一の時、萩野先生に職員室へ呼び出され柔道部に入らないかと誘われたことは今でも忘れません。現在埼玉医科大学総合医療センター眼科の責任者をしております。 <小幡 博人(昭56卒)＞

●卒業からはや40年、地元の池袋を離れず、時代の荒波のなかで本業の不動産業を運営しております。5年程前に長年の趣味からステンドグラス教室を立ち上げました。 <恩田 亨(昭56卒)＞

●きついクラブの練習後のパン屋さん、自分たちで作った草野球チームなど友達、先輩、後輩との楽しい記憶が沢山あります。今の学生達にも充実した思い出をつくってもらいたいものです。

＜佐藤 博(昭56卒)＞

●内科開業医ですが、幸い元気で微力ながら発熱外来などを行っています。ステイホームの時間が長く、学生時代にやっていたギターを思い出しながら今はウクレレを練習したりしています。

＜城田 庄吾(昭56卒)＞

●非優秀者として某電機メーカーに就職。17年後に思いたち独立。害虫獣防除の会社を立ち上げ今に至っています。 <田中 清晃(昭56卒)＞

●学校近く中華飯店で昼を食べたことがなつかしい。中井君、清水君元気ですか。2015年より浜松で市議会議員として活動しています。

＜丸 英之(昭56卒)＞

●川口市で小児科を開業しています。川口では獨協高校卒の医師、歯科医師、薬剤師が集まって年1回獨協会を開いています(昨年はコロナ禍でできませんでした)。ご興味のある方はご連絡ください。

＜山森 裕之(昭56卒)＞

●現在、伊勢原市の建設会社に勤めています。足場工事を専門にしています。先日、同級生から見積りの依頼があり、とてもうれしかった。たまに高木先生(数学)に会いたくなります。 <泉水 出(平3卒)＞

●4年前、部活仲間と東京で再会しました。皆二つ返事で集まってくれました。また、最近勤務先の病院に新しく赴任された麻酔科部長の先生が獨協高校の先輩で、これまたお世話になっております。獨協卒業生の優しさがありがたいです。

＜田中 浩史(平3卒)＞

●現在副住職として、一山の護持に邁進しております。自宗の末寺である護国寺に登嶺する度に、恩師、仲間と共に過ごした良き日々を追想しております。

＜島根 智彦(平13卒)＞

●卒業して20年になりますが、ドイツ語のメンバーとの交流が続いているのが嬉しい限りです。職場では学年主任として日々高校生と向き合っています。

＜森 文彦(平13卒)＞

●環境教育に携わり3年が経ちました。足立区の河川敷緑地で、自然遊び体験や生きものと触れ合う機会を提供しています。先生方や同期生の皆に、またお会いできる日を楽しみにしております。

＜梶 仁亮(平23卒)＞

●コロナ禍という状況下で密にならない趣味という事でオートバイに乗り始めました。休日は、かつての同級生と天馬行空、鉄の馬に乗って自由に走り回っています。 <山田 凌右(平23卒)＞

獨協同窓会支部会の立ち上げ

地域別の獨協同窓会支部会(北海道、東北、九州、海外等の単位で)を立ち上げませんか。
ご賛同いただける方は同窓会事務局までご連絡ください。

メール ➡ info@dokkyo-mejro.com 電話 ➡ 03-3946-6352 (毎週月・木 13:00~16:00)

ホームページリニューアルのご案内

<https://www.dokkyo-mejiro.com/>

獨協同窓会のホームページは2004年に当時のスタッフ有志によって作成されスタートしました。獨協100年史を盛り込むなど獨協の歴史が輝く素晴らしいものです。この度、スマートフォンやタブレットでもサクサクご利用頂けるように、リニューアルしました。移動中など時間が出来た際に是非ご覧ください。

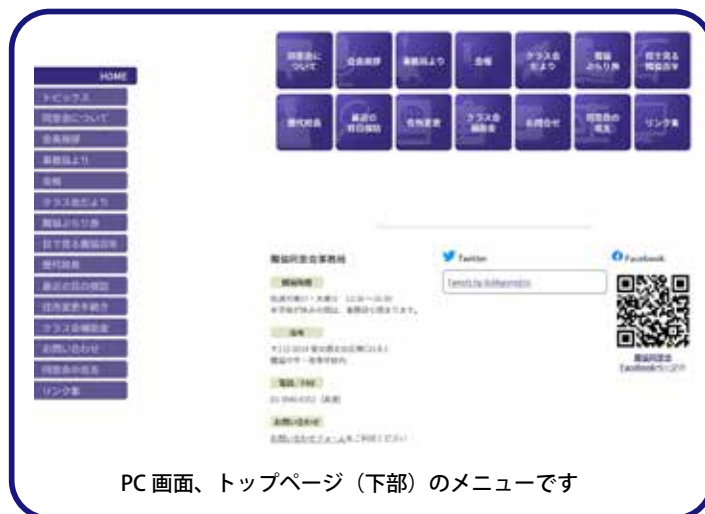


【独協通信をPDFで入手出来ます】

* 住所が変更されたなど、独協通信が届かなくてもご覧いただけます。

【新たな機能】

* 住所変更届が出来ます。
* クラス会・OB会等、開催時の補助金申請が出来ます。



PC画面、トップページ（下部）のメニューです

クラス会・OB会等補助金申請書

クラス会・OB会などの開催に際して、5名以上の開催に際し15,000円の補助金をお支払いします。（1グループあたり1回/年）
以下のフォームより情報を登録してください。
[AA]を申請することも可能です。（AA後は2人超過を印刷してご利用ください）

- ・新たにこの申請書がなかった場合は、ご連絡ください（独協通信を参照します）。
- ・参加費に、補助金払込宛先をご提供ください。
- ・クラス会等（独協通信）に是非ご投稿ください。
- ・同窓会スタッフの印刷日時は、月・曜日の12:00~14:30です。

* 会名

* 開催日時

開催場所

参加予定人数

* 代表幹事

学年

電 話

メール

住 居

日中連絡がとれる電話

獨協の歴史や獨協祭参加報告など、写真や資料を引用される場合には「獨協同窓会 HP より引用」と明記ください。



同窓会からのお知らせ

平成の卒業生を募集しています

同窓会の運営に参加いただける方を募集しています。独協通信の編集、獨協祭での展示や同窓会運営のアイデアなど、平成の風を欲しています。年に数回の会議に参加可能な方、ご連絡をお待ちしています。

独協通信OB会紹介コーナーについて

独協通信 92 号から新たにOB会紹介コーナーを設けましたので、振ってご投稿ください。文字数・写真などは本通信 12 ページのラグビー倶楽部をご参考にしてください。

メール → info@dokkyo-mejiro.com 電話 → 03-3946-6352 (毎週月・木 13:00 ~ 16:00)

独協通信 97 号 (令和 3 年 12 月初旬発行) の原稿募集

締切日: 令和 3 年 9 月末

同窓生の皆様から、投稿をお待ちしています。

- ① ドイツ語圏における体験など (800 字)
- ② クラス会、OB 会、など集いの報告 (200 字)
- ③ 獨協の思い出 (800 字)
- ④ 近況報告 (200 字)

*頂戴しました原稿への加筆・修正、一部削除などをご承知ください。

*独協通信は同窓会ホームページにも掲載されますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

郵送の場合 → 〒 112-0014 文京区関口 3-8-1 獨協同窓会

メール → info@dokkyo-mejiro.com

電話 → 03-3946-6352 (毎週月・木 13:00 ~ 16:00)

同窓生の新刊紹介

山口一彦氏 (昭和 40 年卒) 詞華集『^{パン}牧神の囁』

本著は「詞華集」と題し、短詩型の作品を納めたものですが、この度はとりわけ日本語の美しさにこだわりました。昨今の日本語の乱れを憂いつつ、若い世代の人達にも日本語の美しさを伝えられたらと案ずる次第です。(山口)

同窓会に寄贈いただきました。ありがとうございました。



著者 山口一彦

発行 文芸社

定価 1,000+税

物故者名簿 (『独協通信』95 号以降) ご冥福をお祈り申し上げます

卒業年	氏名	物故年月日	昭和 24 年	野口 昌宏	2018/12/6	昭和 37 年	有本 秀樹	2020/7/25
			昭和 26 年	岩永 一雄	2020/8	昭和 37 年	小泉 勝暉	2019/7/1
昭和 17 年	大藤 敬美	2020/2/23	昭和 26 年	向井 舜治	2020/1	昭和 37 年	三井 盾夫	2019/1/12
昭和 17 年	高場 弘之	2020/11/1	昭和 26 年	吉田 矩久		昭和 38 年	假屋園茂雄	2019/5/2
昭和 17 年	山口 勝	2020/10/29	昭和 27 年	千葉 誠	2018/	昭和 39 年	佐々木光昭	2020/8/25
昭和 18 年	中村 舜吾	2020/7/10	昭和 29 年	橋本 克己	2020/12/24	昭和 41 年	大成 哲	2012/5
昭和 19 年	一箭千代松	2014/12	昭和 29 年	藤野 紫道	2019/12/19	昭和 41 年	藤井 哲夫	2020/10/15
昭和 20 年	歌橋 憲三	2020/3/29	昭和 31 年	窪田 輝夫	2018/4/7	昭和 43 年	平岡 俊介	2021/2/12
昭和 20 年	田中 宏	2020/10/30	昭和 34 年	西部 暁介	2020/8/30	昭和 46 年	小林 修一	2020/10/7
昭和 20 年	西谷 昭典	2020/12	昭和 35 年	大河原 清	2008/7/20	昭和 47 年	白石 剛	2020/10/11
昭和 22 年	福嶋 昌彦	2020/9/20	昭和 35 年	金 有一	2021/4/12	昭和 59 年	外山 賢一	2020/10/17
昭和 24 年	浅野 祥三	2020/10/23	昭和 35 年	森山知英郎	2021/3/7	昭和 62 年	竹内 和彦	2021/3/23

～甲状腺を病む方々のために～

ITO HOSPITAL 伊藤病院

院長 伊藤公一 (昭和 51 年卒)

TEL. 03-3402-7411 東京都渋谷区神宮前4-3-6 www.ito-hospital.jp

医療法人社団甲仁会
理事長 伊藤公一

NAGOYA 名古屋甲状腺診療所

TEL. 052-252-7305
名古屋市中区大須 4-14-59
www.kojin-kai.jp/nagoya/

SAPPORO さっぽろ甲状腺診療所

TEL. 011-688-6440
札幌市中央区大通西 15 丁目 1-10 ITOメディカルビル札幌 5F
www.kojin-kai.jp/sapporo/



医療法人社団

野村会 昭和の杜病院

東京都昭島市宮沢町 522-2

理事長 野村芳樹 (昭和 54 年卒)

医療療養型 180 床・透析ベッド 36 床
入院 (一般内科・透析)・外来透析・各種健康診断随時ご相談ください

TEL 042-500-2611 FAX 042-500-2612

法人経営者及び個人事業主の経営・会計アドバイザー

中島達弥

公認会計士

実務家として寄り添い、協働することをモットーとしております
病院等の医療機関も含めたあらゆる業種の会計監査、顧問に加え
社外監査役や監事も承っております

(略歴)

1990.10 ~ 2020.6 : 有限責任監査法人トーマツ(パートナーを経験)

2020.7 ~ : 中島達弥公認会計士事務所開設
会計監査、顧問及び社外監査役として活動中

中島達弥公認会計士事務所

S61卒

mobile : 090-3478-8233

e-mail : tat.nakajima@ms01.jicpa.or.jp

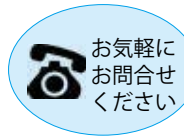
SASAKI LAW OFFICE

佐々木綜合法律事務所

東京都千代田区神田須田町 1 丁目 26 番 芝信神田ビル 10 階

TEL 03-3255-0091 FAX 03-3255-0094

相続・不動産・企業法務など
さまざまなお悩みを承っております。



東京弁護士会所属
弁護士 佐々木 広行(昭和61年卒)
[平成 28 年度 東京弁護士会副会長]

最前線の医療従事者を守るために
獨協ドクターズ 全面協力のもとに完成



医療現場の笑顔を増やしたい

有功社シト一貿易株式会社
YUUKOHSHA CITO TRADING CO.,LTD.

URL <https://www.yct.co.jp>

(昭和 53 年卒) 代表取締役 谷口 有三



社 是

「事業は神聖なものであるが故に一切のこと相働きて最善と為す」

小宮 恒産 株式会社 (管財会社)

村上 順

代表取締役CEO

昭和43年卒



〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-21-10

代表 : 03-3936-5038

FAX : 03-6906-5603

直通 : 03-3936-5087

siegfried@aiores.ocn.ne.jp

寄付金納入者一覧 (「95号」以降)

(敬称略)

竹内 正和 (昭和18)	里見 治 (昭和35)	高木 道生 (昭和47)	伊藤 英一 (昭和59)
歌橋憲三ご家族様「獨協辰巳会」 (昭和20)	益井 邦夫 (昭和37)	高土 橋雄二 (昭和47)	塩島 功一郎 (昭和59)
石井 進 (昭和20)	星野 紘 (昭和37)	森 一博 (昭和47)	石鳥 直孝 (昭和63)
三枝 英夫 (昭和20)	三室戸 東光 (昭和37)	上田 善彦 (昭和47)	梶田 利文 (昭和64)
名久井 隆司 (昭和20)	山本 康雄 (昭和37)	秋元 雅之 (昭和48)	星野 剛 (平成10)
桑嶋 陽一 (昭和29)	村上喜代次 (順) (昭和43)	島 康成 (昭和48)	稲葉 由樹 (平成23)
江幡 甚八 (昭和32)	池田 彰男 (昭和44)	菅谷 敦人 (昭和48)	栗原 昌史 (平成26)
岩佐 峰彦 (昭和34)	大塚 博正 (昭和44)	酒井 邦雄 (昭和50)	阿部 悠人 (平成27)
高橋 龍二 (昭和34)	長山 和夫 (昭和44)	遠山 洋一 (昭和53)	翁 慧寧 (平成31)
沢辺 滯吉 (昭和34)	小山 紀夫 (昭和45)	菅谷 敦人 (昭和58)	
佐藤 八郎 (昭和35)	橋本 龍二 (昭和45)	堀井 有尚 (昭和59)	
	千葉 実 (昭和45)	吉松 栄彦 (昭和59)	

ご協力ありがとうございました。今後とも会費納入および財務拡充のご寄付をよろしくお願い申し上げます。

獨協同窓会は任意団体のため、寄付金控除制度の対象になっていません。

確定申告での所得控除や税額控除は受けられませんので、予めご了承ください。